

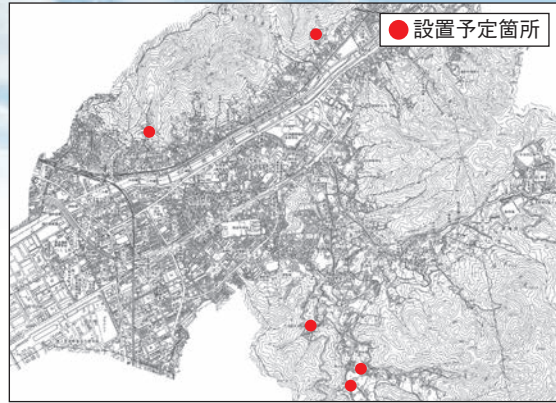
予算トピック

今年度の主な新規・拡充事業です

防災ライブカメラの設置

140万円

自主的な避難対策のため、土砂災害などの恐れが高い箇所を監視するためにカメラを5か所設置し、パソコン・スマートフォンで住民が確認できるようにします。



避難の参考に

電子納税（ペイジー）の開始

164万円

今年の10月1日から法人住民税と特別徴収に係る個人住民税が電子納付できるようになります。地方税法が改正されて全国的な共通納税システムが構築され、海田町も利用が可能となります。



ATMや自宅から納税できます

コンビニで住民票などの交付

2427万円

来年の1月（予定）からマイナンバーカードを利用して、主なコンビニで住民票の写しや印鑑証明書、戸籍証明書などの交付を受けることができますようになります。ただし、住所が海田町外の方の戸籍関係については事前登録が必要です。

利用可能時間

6時30分～23時
（12月29日～1月3日を除く）
※戸籍関係は、平日のみで
9時～17時



コンビニのこのようなマルチコピー機で交付できます

新規保育所の開設

2億9672万円

待機児童が発生していることや乳幼児人口の増加がしばらく続くことが見込まれるため、公募により新規保育所または認定こども園を開所します。

定員 120人（保育所部分）



一昨年開所したさいわい保育園

尾崎川周辺浸水対策

1億1000万円（5年間）

広島県が整備する尾崎川排水ポンプに併せて、大雨の度に浸水する地域に越水を防ぐ止水壁のかさ上げ、水路の排水をするための小型ポンプを設置します。今年度は2000万円かけて小型ポンプの基本設計をします。



かさ上げされる止水壁

総合公園運動場の整備

1億3000万円

総合公園の2期工事のうち多目的グラウンド（予定）整備に取りかかります。今年度は、グラウンドの擁壁工事をします。



工事中の多目的グラウンド(予定)

花都川周辺地区浸水対策

2億2000万円（4年間）

花都川周辺地区の浸水対策のため、潮位上昇時における対策に、今年度1億円で排水ポンプを設置します。また、来年度以降水路の改修を行います。



新町付近での浸水対策です

プレミアム付き 商品券の発行

5374万円

消費税率の引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するために、額面2万5000円券を発行し、2万円で販売します。



平成21年に発行したプレミアム付商品券

購入可能対象者及び購入可能枚数

● 非課税世帯……1枚

● 3歳未満の子がいる世帯

……3歳未満児の子の数まで